

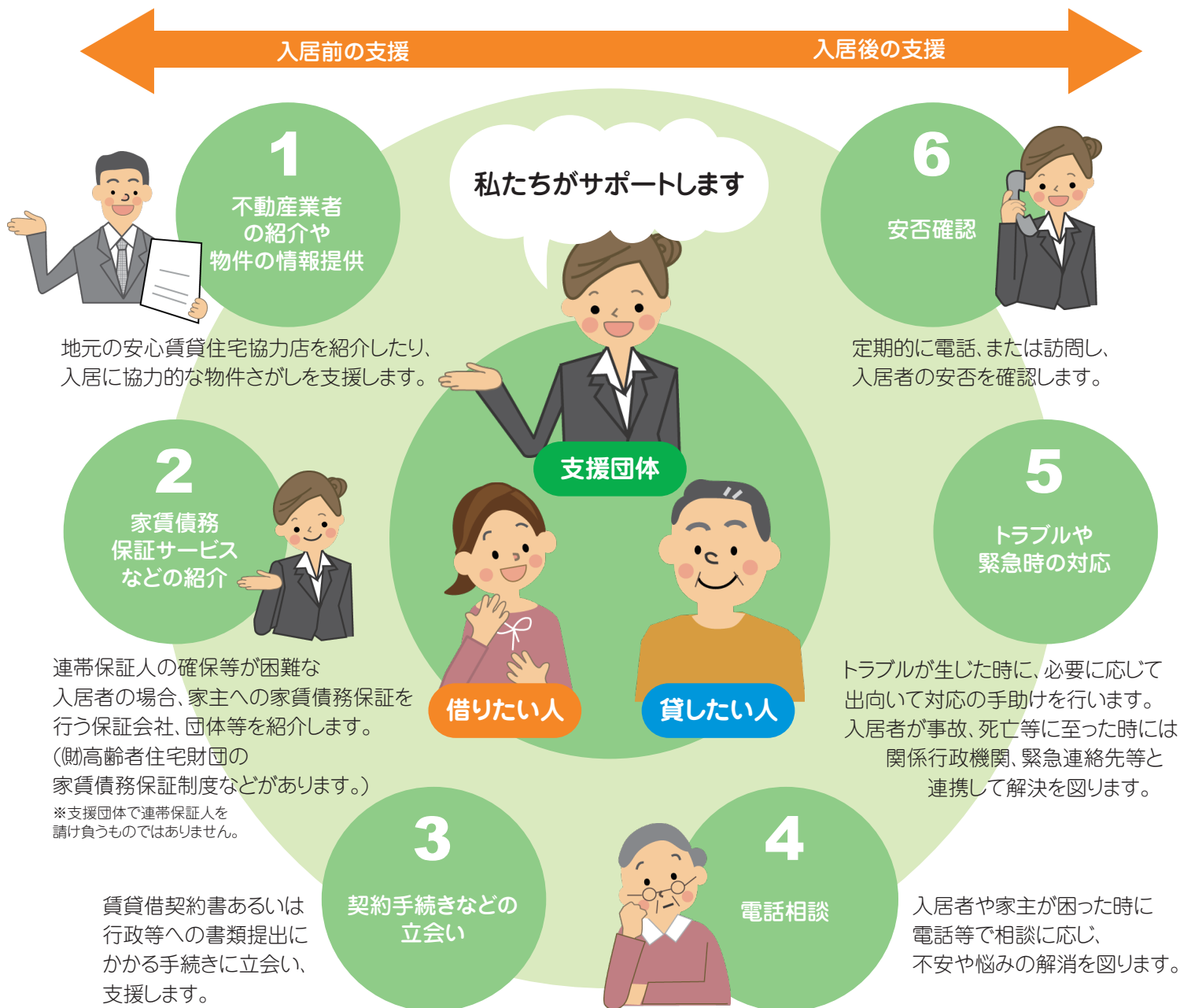


こぶし 相談室

地域に暮らしていらっしゃる障がいのある方(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児)の福祉に関するいろいろな問題について、社会福祉士、精神保健福祉士等の国家資格を持つ相談支援専門員が、本人、保護者、介護を行う方、及び障がい福祉サービス提供事業所等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の支援を行います。また、「障がいがある」とは言えなくとも、うつ状態やひきこもり、その他生活する上での悩みごとを持つ方のご相談にも応じます。

花巻ふれあいの里福祉社会は障がいのある方の賃貸住宅での生活を支える「あんしん賃貸支援団体」として岩手県に登録しています。

あんしん賃貸支援団体が行う居住支援とは



宮澤賢治はその童話『マグノリアの木』の中で、マグノリア(こぶし)を「すべての人の本質」を指し示す「寂静(じゃくじょう)印」といっています。寂静とは静やかな安らぎの境地のことで、仏教用語では「涅槃寂静」といいます。涅槃寂静印の示すものは、いっさいの差別と対立の底に、いっさいが本来平等である事実を自覚することのできる境地、それこそ悟りであるというものです。こぶし相談室もまた、地域の「マグノリア」となるべく、皆さまの生活を支援いたします。